

子育て通信

ポラン



第123号 平成29年3月23日
埼玉県比企郡ときがわ町桃木452
はなどの保育園内
子育て支援センター「ときがわ」

☎ 0493(65)2655

巻頭文

“安心”のこれから

音楽療法を専門にしている下川英子先生が、年に一度、ときがわ町に「音楽あそび」の指導に来て下さる。そのたびに先生はおっしゃる。

「ここのお母さんたちは素晴らしい。」

初めて音楽遊びに参加した方にもすぐに心を開いて仲間として迎えるし、それに子どもとの向かい合い方がいいんですって。

ときがわ町の合計特殊出生率が、平成27年の調査で、前年の0.79から1.22に上がり、40人台にとどまっていた出生数が数年ぶりに50人を超えた。

「ときがわ町なら、何人子どもを産んでも育てていけそうな気がする。」

と、語るお母さんは一人や二人ではない。

この“安心”こそ、子育てに欠かせないもの。いや、人生に欠かせないもの。“安心”があれば、一歩前に踏み出すこともできる。

皆さんが育んできたこの“安心”のこれからを、私は固唾をのんで見守っていきたい。そして皆さんの一人に私も加えていただきたい。

一年間、大変お世話になりました。そしてこれからも宜しくお願いいたします。 柳瀬寛洲



4月の予定

月	火	水	木	金	土
					1 開放・相談
3 開放・相談	4 開放・相談	5 開放・相談	6 開放・相談	7 入園式 (解放なし)	8 開放・相談
10 開放・相談	11 開放・相談	12 開放・相談	13 開放・相談	14 開放・相談	15 園児交流会 (解放なし)
17 開放・相談	18 開放・相談	19 開放・相談 ほのぼの カンガルー	20 開放・相談	21 ポラン エブロンシア ター	22 開放・相談
24 開放・相談	25 開放・相談	26 開放・相談 ほのぼの カンガルー	27 開放・相談	28 ポラン 新聞紙あそび	29

利用にあたって

新年度になります。みなさん4月になったら、29年度規登録をしてくださいね。桜もきれいに咲いています。9時よりお部屋の開放をしていますので是非遊びに来てくださいね。

・ポランひろば
10:30~
・ほのぼのカンガルー
1:30~
子育て支援センターで行います。



アンケートより

わらべうたに参加したが、癒しのひとときがとても良いです（母にとっても） いっぱい覚えたい。ポラン通信に絵本紹介やわらべうたがあり、「読んでみよう」「やってみよう」と思った。絵本や手遊びなどいつも楽しく利用している。手作りのおもちゃがあったり、自然の中でのびのび遊べた。園庭でのびのび遊べることが助かる。上の子の時から支援センターを利用。週1～2回催しがあり充実した日々を送れた。同年代の子と遊んで刺激を受けた。子育ての相談ができた。子どもはたくさんのお友達ができ、母もまた参加しているお母さんたちと相談もできて助かった。子どもの同学年のママたちと交流ができ、いろいろ話せることで気分転換になった。親子だけでは、毎日どうやって遊ぼうと悩むところだが、支援センターに来ることで子供たちと向き合える時間が持てた。

* アンケートにご協力ありがとうございました。

また新たなお友達が集って親子で楽しめる子育て支援センター”ときがわ“であり続けたいと思っています。

絵本紹介



内田莉彩子 訳
佐藤忠良 絵

おおきなかぶ

おじいさんがかぶの種をまきました。おじいさんはかぶをぬこうとしますがとてもとてもひとりではぬけません。おばあさん、孫、動物たちが次々にでてきてかぶを引っ張ります。

観ているみんなもおおきな掛け声をかけながら真剣な表情です。「うんとこしょどっこいしょ～！」みんなで力を合わせ掛け声をかけるところがおもしろい！そしてとうとう抜けました。

最後に表紙と裏表紙共に開いてみて下さい。かつぐのもたいへんなほどのかぶの大きさには、びっくりしますよ。

<支援センターのひとこま>

春をみつけたよ！

ポランひろばで春をみつけに散歩に出ました。「ヨモギって知ってる？」と聞くと「知りません。」「草餅って食べるでしょ。これですよ。」「へえ～」「フキノトウはこれ！」と伝えると、もうみんな地面をじーっとみつめ探すことに夢中のおかあさんたち。フキノトウは目に入りだすと、「あ！あった！ここにもここにも！」まるで森でお花をみつけた赤ずきんちゃんのように。袋はみるみるいっぱいになりました。夕飯のおかずはきつとおいしい天ぷらでしょうね。空を見上げると、ピンクの濃い河津桜が3分咲。「わあ～きれい！！」お花見気分でした。気分よくスキップ！ジャンプ！で坂をくだる。農道では「ヤッホ～」と山に向かってさけぶと、向こうからも「ヤッホ～」と返ってくるやまびこにみんな顔をみあわせ「きこえた！」と思わず拍手してしまいました。

編集後記

お母さんと手をつないで

4歳児のNくんは、朝車をおりると必ずお母さんと手をつなぎながら、門をくぐって登園してきます。その光景がとても微笑ましい。仕事に向かうおかあさん、園で楽しむNくん。

忙しい毎日の中で、短い距離ではありますが親子のほっとできる時間なのだろうと思います。そして親子共に頑張れる！

これから新たな生活がみなさんスタートすることでしょう。親子のいい距離をとりながら子育てを楽しみたいものです。 五十嵐民江

